

仙人池ヒュッテへ行く

夏山情報 5号

8 / 3 , 4

ノートパソコンの修理のため、更新が大変遅れました。

今年の前期の最終目的・・・仙人池のあばちゃんに会いに行きました。

なんと、20年ぶり・・・だということです。

忘れてあったピッケルを気にしていて、大変うれしく思いました。

・・・自分では、もう他に2本持っていて必要ないのですが・・・

・・・NHKの人間ドキュメントのために、長期の取材にきていました。

11月に放送の予定だそうです。

いつか・・・早急に、仙人池ヒュッテのホームページをつくりたいと思っていますので

ご協力をお願いします。

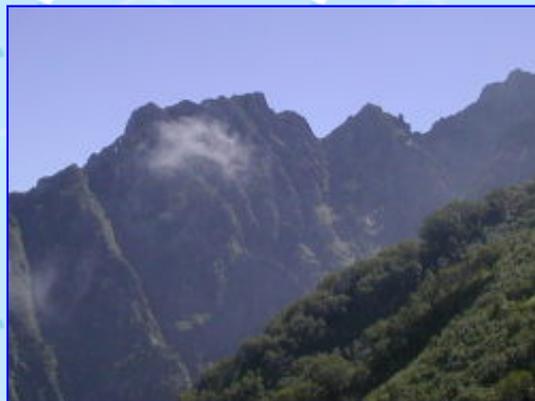
コースタイム

1日目 馬場島 6:00 - 早月小屋 9:30 - 剣岳頂上 12:00

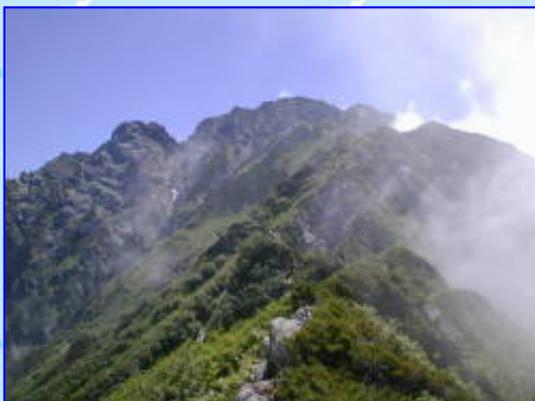
－ 長次郎出会い 14:00 - 二俣 15:00 - 仙人池ヒュッテ 16:50

2日目 仙人池 6:30 - 仙人湯 8:00 - 阿曾原温泉 10:00 - 樺平 16:00

夏の剣岳に登って、こんなに剣岳の「山の色」がよいのは、初めてだ。早月小屋からの素晴らしい景色に感動だ。



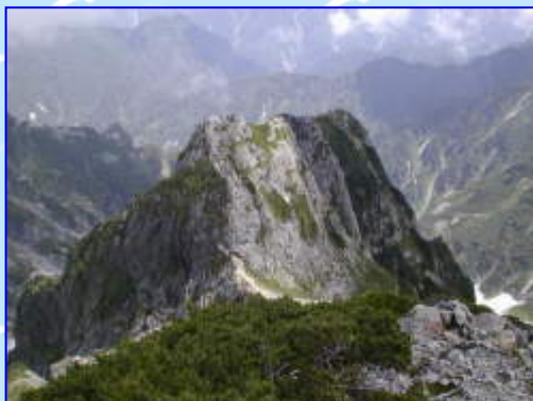
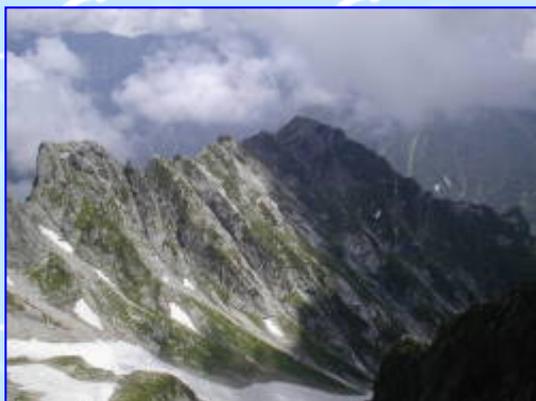
2400mから2600mの素晴らしい迫力ある小窓尾根・剣岳の本峰。今日はまったく調子がよい。余裕で、仙人ヒュッテへ行けそうな気がする。



いよいよ最後の登り。この地点でこんなに天気がよいのは、早月尾根ルートでは、初めてだ。
山頂のスナップは、神戸山岳会のみなさん。



長次郎雪渓を降りる。源次郎尾根をコルまで行き、そこからガラ場を下った。
しかし、雪渓が切れていて、ルートを探すのに四苦八苦、ちょっと時間を要した。



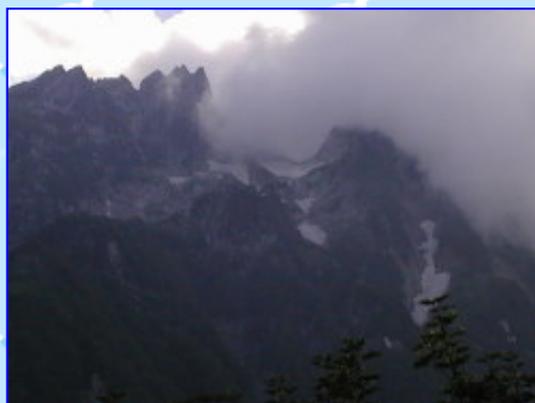
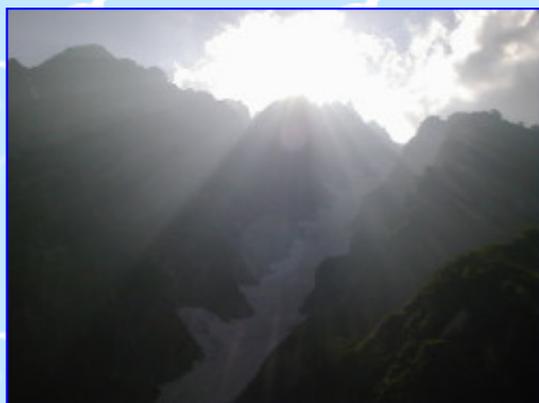
久しぶりの長次郎の雪渓。ハツ峰の迫力に圧倒される。大雪渓の魅力にもう感動・・・



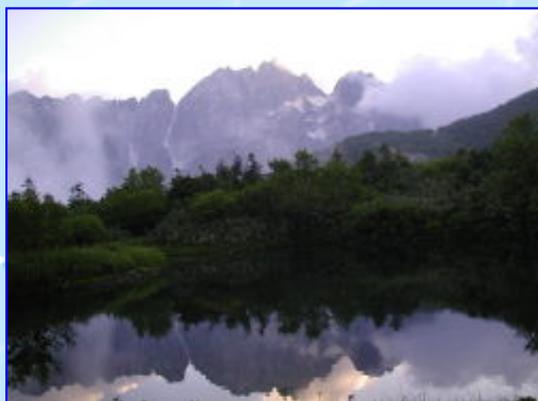
真砂沢のキャンプ地。右は、二俣のつり橋より三の窓雪渓。もうすぐ、夕暮れた、急ぎたい。



仙人新道をぐんぐん登ると、突然剣岳が見える。壮観だ・・・
いつ来ても、その季節・時間によって感動が違うのが、この裏剣岳の魅力だ。



今回、デジタルカメラしか持参しなかった。
しかし、以前、大型・中型・一眼レフと3台で頑張った時もあったが、誰がどんなカメラで撮っても答えてくれる
のが、ここ仙人池だ・・・「夕照の裏剣」「立山・別山の夕日」



次の日は、天気は下り坂。阿曾原までのルートは、例年よりやや悪い。
左は大崩壊のルート。ここが非常に迷いやすくなっている。右は、天然記念物「ひかりごけ」。



阿曾原までは、ルートの条件が悪い割に順調に行くことができた。・・・しかし・・・下の廊下は、最悪の条件になった。豪雨・・・豪雨・・・滝のような雨 右の写真を撮ったあと、この谷底に転落してしまった。・・・
・カメラが水びたし。



情報アラカルト

今回も、途中の給水については、完璧、絶好調の山行きとなった。

しかし、例年より雪渓の溶け方が早く(長次郎で会った、8日間も滞在するクライマーの話だと、ここ2、3日で長次郎の雪渓上部が急に溶けたそうである。)、途中予定より行動が困難なところがあった。2日目に関しては、初めて経験した豪雨。

黒部川の鉄砲水の話などは良く聞いたことがあるが、こんなにすごいとは思わなかった。いつもは、水のない、なんともない沢が突然、滝のようになるのだ。

久しぶりに、谷に転落したりして、恐怖・・・(本人は、さほど感じていないのであるが。)を体験した1日であった。

これほどの雨を経験すると、さすが雨具は最高のものを買うべきだと思いました。

今日の出会い



この荘厳さ、神々の座にふさわしい景色だ。特に、仙人からの景色は写真には本当によい素材だ。この写真が大変条件の悪い時とは考えられないほど、また幻想的だ。

